



平成28年11月2日

各位

上場会社名 日本精鉱株式会社
 代表者 代表取締役社長 渡邊 理史
 (コード番号 5729)
 問合せ先責任者 専務取締役企画管理部長 渡邊 繁樹
 (TEL 03-3235-0021)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	540	520	350	28.66
今回修正予想(B)	10,500	630	590	400	32.75
増減額(B-A)	500	90	70	50	
増減率(%)	5.0	16.7	13.5	14.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	11,797	532	505	312	25.63

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,600	10	70	60	4.91
今回修正予想(B)	5,200	110	170	140	11.46
増減額(B-A)	600	100	100	80	
増減率(%)	13.0	1,000.0	142.9	133.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	6,089	△39	12	5	0.45

修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、当第2四半期累計期間においては、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、販売が堅調に推移し、前回公表致しました予想を上回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、アンチモン事業においては、業績の回復が幾分見込まれる一方、金属粉末事業においては、主要顧客である電子部品業界の先行きは不透明な状況にあり需要の低迷が予想されますが、第2四半期累計期間における業績の上振れ効果により個別、連結ともに前回公表致しました予想を上回る見込みとなりました。

(注)上記業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記数値と異なる可能性があります。

以上